

2020年8月7日  
明治安田アセットマネジメント株式会社

「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》  
(再改訂版)の受け入れについて

明治安田アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 大崎 能正、以下「当社」）は、このたび、2020年3月に再改訂された『責任ある機関投資家』の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》（以下「本コード」）の内容を踏まえ、「スチュワードシップ責任への取組方針」を更新いたしました。

当社は、2014年5月に本コードの受入れを表明し、責任ある機関投資家として、投資先企業の持続的成長に向けてスチュワードシップ責任を適切に果たすための取組みを進めてまいりました。

今般の取組方針の更新にあたっては、運用戦略に応じたサステナビリティ（ESG※要素を含む中長期的な持続可能性）の考慮、および本コードが念頭に置いている日本の上場株式に加えて、他の資産についてもスチュワードシップ責任を果たせるよう社内体制整備に取り組むこと等について追記いたしました。

当社は、引き続き、スチュワードシップ活動の推進およびエンゲージメントの質的向上に取り組むことで、インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献してまいります。

※ ESGとは、E（環境、Environment）、S（社会、Social）、G（企業統治（ガバナンス）、Governance）の3つを意味します。当社では、主にボトムアップ・リサーチに基づくアクティブ運用において、投資対象企業のファンダメンタルズを分析するとともに、ESG要素等の非財務情報も考慮し、企業との対話を通じて企業の投資魅力度を判断する運用を行なっています。

以 上